

# 議 会 だ よ り

清水町

2018年(平成30年)11月

No.155

■発行 北海道清水町議会  
 ■編集 広報広聴常任委員会  
 〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目  
 ☎62-3317 FAX62-5160

## 清水公園カリヨントイレ 多様な利用者に配慮し改修へ

改修工事費を含む一般会計補正予算案を可決

第6回定例会

第6回定例会は9月11日から28日までを会期として開かれ、町からは行政報告2件と、健全化判断比率と資金不足比率の報告がありました。また、条例の制定・一部改正5件、損害賠償の額の決定及び和解、一般会計ほか3特別会計の補正予算、決算の認定6件、人事案件3件の提案があり、審議の結果、全て原案のとおり可決(認定・同意)しました。

### 一 一般会計補正予算は 定例会初日と最終

日に町から提案があり、審議の結果、原案のとおり可決しました。

主な歳出として、土木費の公園管理費では、清水公園カリヨントイレ改修工事費に1660万円が計上されました。

トイレの洋式化とともに、幼児用設備やオストメイト対応の身障者用ト



改修前の清水公園カリヨントイレ  
 (平成5年設置)

イレなどが新たに設置され、冬期間も利用できるようになります。

改修工事は平成30年10月末から12月末までの予定で実施されます。

### 結婚・少子化対策の 新規事業に279万円

画費では、ふるさと納税による寄附金増加を目指し、事業者を核とした組織づくりや

返礼品の開発、地域資源の掘り起こし等を民間に委託するとして300万円が計上されました。

また、新規事業として結婚・少子化対策事業に279万2千円が計上されました。

この事業は、いろいろ

な角度から結婚対策を進めることで本町の出生率を高め、持続可能な未来につなげることを目的としており、事業費の半分は内閣府の「地域少子化対策重点推進交付金」を活用する方向で現在準備が進められています。

共栄橋解体撤去工事に1億2680万円

### 通 行止めとなつてい る共栄橋(町道西

十勝道路)の災害復旧について、今年度は橋梁の解体撤去を進めるとして、

工事費に1億2680万円が計上されました。

なお、共栄橋の全面復旧は平成32年9月の予定

## 平成30年度 補正予算

### 一般会計

(6・7回目の補正)

4億4,771万円増

総額99億5,668万円

### 一般会計の主な補正(本文掲載以外)

- ◇廃屋解体撤去事業補助金 96万円の増額
- ◇御影保育所温水ボイラー更新工事 373万円の増額
- ◇保育施設建設用地整備工事 657万円の増額
- ◇新生児聴覚検査助成費 17万円の増額
- ◇農村浄化槽設置推進事業補助金 183万円の増額
- ◇農業経営体育成支援事業補助金 1,091万円の増額
- ◇道路等補修工事(補修箇所増) 400万円の増額
- ◇自動車事故賠償金(除雪作業中の電柱損傷事故) 32万円の増額
- ◇御影小学校プール天窓交換工事 129万円の増額
- ◇農地・農業用施設災害復旧工事 2,156万円の増額

## 平成29年度決算を認定

### 財政状況は徐々に改善へ

既存施設の老朽化対策が今後の課題

### 平

成29年度の一般会計、3特別会計(国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険)、

2事業会計(水道・下水道)の決算の認定については、9月25日の本会議

において総括的な説明を

受けた後、審議を行いました。

一般会計の歳入(収入)合計額は95億81万9404円、歳出(支出)合計額は92億4021万4087円で、差引残高2億

6060万5317円は

請願の審査			
件名	提出者	審査委員会	結果
ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書に関する請願について	日本労働組合総連合会北海道連合会清水地区連合会	総務産業 常任委員会	採択
道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書に関する請願について		厚生文教 常任委員会	採択

### 意見書の提出

次の意見書は第6回定例会において可決され、議会はこれを関係行政庁に提出しました。

- ◆ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書
- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

### 人事

#### 教育委員会教育長の任命に同意

三澤史佐子さん（文京）を教育長に任命することに同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は同意しました。



三澤史佐子さん

#### 教育委員会委員の任命に同意

小笠原清隆さん（桂町）、川端和仁さん（新興）を教育委員に任命することに同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は同意しました。



小笠原清隆さん



川端和仁さん

### 閉会中の委員会活動

**総務産業常任委員会**

- ①産業振興におけるエネルギー確保について
- ②その他所管に関する事項について

**厚生文教常任委員会**

- ①ごみ処理の広域化について
- ②その他所管に関する事項について

**広報広聴常任委員会**

- ①議会広報紙の編集及び発行について
- ②その他議会の広報及び広聴に関する事項について

**議会運営委員会**

- ①議会の運営とその諸規定について
- ②議長の諮問に関する事項について

### 議員の賛否公表（賛否等が分かれた案件のみ掲載）

議件番号	議件	大谷	桜井	北村	高橋	佐藤	原	口田	中島	奥秋	安田	西山
請願第18号	ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書に関する請願について（総務産業常任委員会審査報告）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	平成30年度清水町一般会計補正予算（第6号）の設定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	清水町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
意見案第7号	ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
意見案第9号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※加来良明議員は議長のため採決に加わっていません。○：賛成 ×：反対 -：棄権

#### 北村議員

公会計システムの導入について、どの程度まで進んでいるのか。

**総務課長**

平成28年度の決算ペー  
スで財務4表の作成に取り  
組んでおり、10月末ま  
でに完了する見通し。

**原議員**

町長交際費の支出が年々  
減ってきているが、意図  
的に減らしているのか。

#### 農林課長

補助開始から23年が経  
過しており、回数や条件  
も含めて見直さなければ  
ならない。

**桜井議員**

太陽光発電システム導  
入奨励金交付事業につい  
て、平成29年度の実績は  
ゼロであるが、今後も継  
続するのか。

#### 大谷議員

農村浄化槽設置事業の  
補助金に「1人1回、住  
宅に限る」という利用条  
件がある。回数を見直し、  
牛舎や事務所も対象にし  
てはどうか。

**保健福祉課長**

保健所等から指示があ  
った段階で対策を進めて  
いく。

**西山議員**

大人の風疹が流行して  
いるが、町として何か対  
策は考えているのか。

**高橋議員**

新聞等で取り上げられ  
ていたアイスホッケーの  
パワハラ問題について、  
今後このようなことがな  
いよう、町としてどのよ  
うな指導をしようかと  
考えているか。

**社会教育課長**

非常に残念な出来事。  
上部団体等とも連携を図  
り、再発防止に努めてい  
きたい。

**奥秋議員**

国民健康保険特別会計  
の高額療養費の保険者（町）  
負担額が前年度より減っ  
ているが、何か方策を考  
えて努力しているのか。

**保健福祉課長**

これまでも特定健診や  
がん検診を実施しており、  
病気を早期に見てできれ  
ば医療費の減少にもつな  
がるので、これからも多  
くの方に検診の受診を勧  
めていきたい。

#### 商工観光課長

実績はないが、町内事  
業者の施工を条件として  
おり、継続していきたい。

## 行政報告

9月11日

### 農作物の生育状況等について

9月1日現在の主な作物の生育状況等について、7月以降は雨や低温の日が多く生育経過が遅れている。秋まき小麦の10アールあたりの粗原収量は平均7.6俵、春まき小麦は平均5.2俵となった。てん菜は「並」、馬鈴薯の収穫作業は平年より3日早く始まっている。豆類は大豆、小豆、菜豆類とも「やや不良」、牧草は「やや不良」、サイレージ用とうもろこしは「不良」となっている。

### 北海道胆振東部地震による被害状況について

地震直後の9月6日未明からの停電の影響で、日常生活に支障をきたすことになり、避難行動要支援者208名へ電話で安否確認を行い、援助が必要な方や電話の応答がなかった方61名について、家庭訪問を行い一部食料の提供を行った。また、公衆浴場の無料開放や携帯電話の充電場所の設置を行った。

農業関係については、生乳出荷農家109戸が自家発電や発電機の借り入れ等により、7日夕方には搾乳が可能となったが、受け入れ先の乳業工場が操業を停止していたため、生乳を廃棄せざるを得ず、損害額は8千万円を超える見込みとなっている。

### 条例の制定・一部改正

- 認定こども園の設置及び管理に関する条例
  - ・平成31年4月から御影保育所が認定こども園（保護者の就労の有無に関わらず利用できる教育・保育施設）に移行することによる条例の整備
- 特定教育・保育施設等の利用者負担金条例
  - ・認定こども園と保育所の保育料を規定
- 保育所条例の一部改正
  - ・保育料の規定を削除（新条例に移行）
  - ・御影保育所の設置の規定を削除
  - ・延長保育を時間外保育に名称を変更
- 選挙ポスター掲示場条例の一部改正
  - ・公職選挙法の一部改正に伴う引用条項の改正
- 町税条例等の一部改正
  - ・障がい者、未成年者、寡婦及び寡夫に対する非課税措置の所得要件の引き上げ（前年合計所得金額125万円以下→135万円以下）
  - ・均等割が非課税となる基準を10万円引き上げ
  - ・基礎控除に所得要件を創設（前年合計所得金額2,500万円超で基礎控除の適用が消失）
  - ・紙巻きたばこの税率を段階的に引き上げ
  - ・加熱式たばこの課税区分を設置



# 町政を問う！

# 一般質問

9月定例会では7人の議員が11項目の一般質問を行いました。  
なお、質問と答弁は要約しています。

## 森林環境譲与税の対応と今後の取り組み



桜井崇裕議員

平成31年度から森林環境譲与税の自治体への譲与が開始され、森林の管理は所有者の責務となる。管理ができない場合は自治体に委ねることになるが、町の考え方と今後の取り組みについて伺う。

①新たな森林経営管理制度とはどのような制度か。  
②所有者の責務が強化されたことをどのように周知し、意向を調査しているのか。  
③本町の配分額はどのくらいになると試算しているのか。  
④今後どのような手順で進められるのか。  
⑤森林組合の役割は。

### 阿部町長

成の所有者を特定して進めていく。  
⑤森林組合は従来から森林所有者に対し森林経営計画への編入や施業集約の働きかけを行っており、担う役割は大きい。

## 森林経営管理法による本町の私有林管理



原 紀夫議員

森林経営管理法が成立し、来年4月に施行されるが、本町の私有林の現状について伺う。  
①2年前の大災害で町民も森林の重要性を再認識したと思うが、町の見解を伺う。

### 阿部町長

①災害に強い山づくりを進めるため、新たな制度を活用して私有林の間伐等を進めていく。  
②面積等は把握していない。森林組合とは林地台帳の整備にあたり協議の場を設けている。  
③耕地防風林の必要性を周知し、伐採を行う事業体に対して再造林を勧めなどの働きかけをしていく。

## 役場本庁舎内各課配置の見直しによる業務の効率的運営

原 紀夫 議員

いきたい。森林火災を想定した対策を関係機関に要望していきたい。

### 阿部町長

④職員意見を聴取・尊重して対策を講じる。

## ふるさと納税制度



北村光明議員

人口減少社会を迎え、自治体の自主財源の確保が課題となっている。ふるさと納税の現状と今後の取り組みについて伺う。  
①これまでの取組状況と寄附金の推移を伺う。  
②本町の特徴的な取り組みはあるか。  
③国の地方創生事業との連携はあるのか。  
④返礼品の品揃えだけではなく、寄附金の活用工夫が必要ではないか。

### 阿部町長

①平成20年10月から基金を設置して受付を開始し、平成25年度までの寄附金は年200万円程度で推移。返礼を開始した平成26年度は約298万円、平成27年度は約5445万円、平成28年度は台風災害の影響もあり約8457万円、平成29年度は約6010万円、今年度は8月末現在、昨年同期と比較して寄附件数は6割減、金額は半分となっている。  
②礼状と報告書の送付、協賛店での商品等の割引、移住体験住宅の利用料の割引などが挙げられる。  
③ふるさと納税をきっかけに特産品を広く発信し、新商品開発の推進など地域産業の振興と雇用の維持・拡大を期待するとともに、子育て支援などの施策を知ってもらうことで移住・定住につながるものと期待している。  
④ふるさと納税を活用し

## 社会教育施設の活用と町民活動の促進

北村光明 議員

建物の管理と併せて、町民自身の学びと活動において教育委員会の役割は重要である。  
①図書館や公民館の活動について所感を伺う。  
②町民の自主的な活動を継続的に支援する専門的な社会教育主事や学芸員の配置が必要ではないか。  
③大ホールの活用を企画できる「町民劇場」のような活動と組織が必要ではないか。

### 伊藤教育長

①図書館は町民が読書に親しむことのできる環境の向上に努めており、公民館は時代に即した各種講座の開設や任意グループの支援、町民主体の貸館管理に努めている。

## 日高山脈の国立公園化指定

北村光明 議員

北海道の背骨と言われる日高山脈は、現在「日高山脈襟裳国定公園」となっている。  
日高山脈の国立公園化について、本町及び関係自治体と連携した運動が

②社会教育課に社会教育主事と学芸員の資格を有する職員が1名、図書館に司書が4名配置されている。  
③町民による芸術文化の企画運営団体設立に向けて準備を進めているところであり、効果的・効率的な文化投資ができる組織が設立されるものと期待している。

必要と考えるが、取り組みの現状について伺う。  
①雄大な自然環境の保護及び観光資源の施設や景観維持のための事業にはどのようなものがあるか。  
②日高山脈の景観は十勝側から見たほうが雄大である。それにちなむ公園名称やサブネーム（例えば、十勝アルプスなど）は考えられないか。

### 阿部町長

①「保護」や「景観維持」に関しては、鹿や外来種動物による被害防止や自然再生に関する対策を実施し、自然環境の保護や生態系の維持及び回復のための取り組みが行われている。  
「利用」に関しては、公園内に生育する動植物の展示施設、ビジターセンター、公衆トイレ、公園内の植物を見るための木道の整備などがある。  
②平成28年度から環境省において国立公園指定を検討するための調査が行われており、その調査結果により国立公園化指定の判断がなされる。名称は指定の方向性が出されたあとの検討事項とされている。



美蔓パノラマパークから見る日高山脈







# 議会報告会と町民との意見交換会 調査、検討結果報告

意見交換会  
テーマ

## 町議会議員の定数・報酬について

平成30年5月29日（文化センター）と5月30日（御影公民館）に議会報告会と町民との意見報告会を開催し、延べ39名の方にご出席いただきました。

意見交換会での質疑、意見・提言等と、その調査、検討結果等を報告書にまとめましたので、概要をお知らせします。

※報告書の全文は清水町議会のホームページ又は役場3階の議会事務局でご覧になれます。

### 議会に対するもの①（議会活性化特別委員会で調査、検討）

質疑、意見提言等	調査、検討結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬は現状のまま、定数は10人くらいでいい。なり手不足は心配だが、土・日曜日に議会を開催するなど工夫しては。なぜ議員にならないのかの声を拾わないで、ただ報酬を上げることにしない。</li> <li>なり手不足の原因は報酬ではなくやりがいの不足だと思う。</li> <li>少ないというのであれば報酬を上げてほしい。ただし一律ではなく若い人に分配を多くしてほしい。</li> <li>議員がどの程度働いているかわからない。民生委員等の報酬を先に考えて最後に議員ではないか。町長等の給与も変わってくると思う。</li> <li>報酬を上げたい理由がわからない。議員のなり手がいないから、十勝管内の中で低いからと聞かせる。</li> <li>議員報酬が上がったから議員になろうという人はいないと思う。</li> <li>自分から議員になるのは何人かで、地域から推薦を受けて出る場合が多い。今の定数で運営できるのか整理してから意見をもらわないといけない。</li> <li>議員の活動が町民には見えづらいが、報酬は議員の中で調査をして出した金額でいいのではないか。</li> <li>報酬の引き上げを考えていくべき。</li> <li>議会活性化特別委員会が示している案に賛成するが、議員のなり手不足の要因は別のところにあると思う。</li> <li>定数13名の根拠は何か。報酬を上げたらもっと勉強できる、もっと本も読める、そういうものがあるのか。</li> <li>報酬を上げるのはいいが、定数を減らしてと考えていた。定数を減らすのは難しいということなのですっきりしない。</li> <li>報酬を上げるのになぜ定数は減らさないかという意見が出るのではないか。</li> <li>定数を減らして報酬を上げては。</li> <li>報酬が適当かどうかはわからないが、今までどおりで十分だと思う。財政難のことも考慮してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員のなり手不足にはさまざまな要因があるが、議員定数はより多くの町民の声に耳を傾けるため、更に3常任委員会・議会運営委員会の活動も考慮して現状の13人のままの結論になった。</li> <li>議員報酬については、十勝町村議会議長会が作成した議員報酬（月額）「十勝標準」を参考に本町議会議員の活動量に応じた報酬月額を試算して引き上げの案（議員は203,000円）を示したが、議会報告会と町民との意見交換会及び議会活性化等の町民アンケートにより町民意見の聴取を行ったところ、一定の理解は得られたが大多数の方の理解を得るまでには至っていないと判断し、現状維持の結論になった。</li> </ul>



# 委員会 レポート

総務産業常任委員会と厚生文教常任委員会は、委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、第6回定例会において報告しました。

※内容は要約されています。報告書の全文はホームページでご覧になれます。

### 総務産業常任委員会 調査報告

#### 台風災害の復旧状況と共栄橋の被害状況

〔台風災害の復旧状況〕

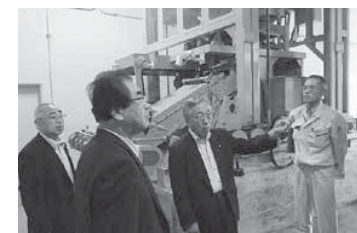
①建設課  
町発注の工事はほぼ完了しているが、ペケレベツ川に関わる橋梁架替工事は北海道が実施する河川改修に合わせ実施するため完了予定が遅くなっている。開通予定はペケレベツ橋と新錦橋が平成31年12月、錦橋が平成32年3月、石山橋が平成

32年12月となっている。

②水道課  
水道施設の復旧は、配水管路、取水施設の頭首工ともすべて完了している。農業用水施設の復旧はほぼ終了し、調整池から下流部の配水管路は全線終了している。導水管路は仮設水源を撤去して完了となり、円山調整池は今年度末

までに完了する予定となっている。

③農林課  
排水路の復旧は、最終工期に合うよう各工事が進んでいる。農地の復旧は道営を含め全て完了している。町営育成牧場も道路・農地ともに復旧している。復旧後の農地については、災害に強く生産性の高い農地づくりに取り組んでいる。また、北海道・J A十勝清水町と連携しながら、農



担当課の説明を受けながら被災箇所の復旧状況を確認

地へのフォローアップとして生産者への指導・支援を行っている。  
【共栄橋の被害状況】  
橋脚1基が1メートル程度沈下・傾斜し、通行止め措置を行っている。

ているため、地域社会経済に大きな影響を与えている。  
復旧工事の概算工費は約6億円で、工期は検討中であるが2か年を予定している。  
【総括】  
北海道が実施主体の橋梁工事等についても細かい情報発信を望む。町直轄の災害復旧事業はほぼ完了との報告を受けたが、共栄橋のようなことも想定されるので、日々の点検をしっかりと行ってほしい。

### 厚生文教常任委員会 調査報告

#### 福祉施設の人材育成・確保の取り組み

本町において平成29年7月から、介護従事者の人材確保・育成及び定住促進を目的に、介護人材育成確保事業を実施している。

上2年以内の退職は2分の1を返還する制度となっている。平成29年度は7事業所に37万円（8名分の助成を行っている。実際には8事業所から10名分の申請があったが2名分が1年未満の退職により全額返還となっている。人材確保・育成の取り組みを進めるために

市内にプロジェクトチームをつくって検討しており、その取り組みの一環として、病院等を除いた14事業所に介護人材の確保・育成に向けたアンケート調査を実施している。



町内の福祉施設2か所を視察し、意見交換を行った。

と伺った。  
「小規模多機能型居宅介護事業所松沢の郷」と「グループホーム松寿苑」では、他の事業所と比較して人材には恵まれているが人員は足りなかった。  
福祉施設の人材確保については、現在においても採用が難しい状況であり、将来においては更に困難になると思われる。  
プロジェクトチームを組織して検討しているが、医師確保を含めた中で将来の対応策を考えるなど、更なる努力が必要である。




町政に対するもの①（総務産業常任委員会で調査、検討）

質疑、意見提言等	調査、検討結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会になって、病院に行く、買い物に行く等で車に乗る機会が多い。清水町は高齢者の足をどのようにするのか。</li> <li>清水高校スクール線は自分の行くところで降してもらえない。都合のいいところで乗り降りできる方法を考えてほしい。この問題は即やってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通として市街地のコミュニティバス、農村部の予約型乗合タクシー、清水高校スクール線活用の清水帯広線バスを運行しており、現在の取り組みを更に周知して利用促進を図るよう執行側へ伝える。</li> <li>清水帯広線バスのフリー乗降は、使用車両や料金などの課題がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化事業はどうなっているのか。みんな枯れている、何のために木を植えているのか。どこでも枯れている。</li> <li>あんな切り方は誰がするのか。業者の金儲けのためにやっているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町道の街路樹剪定は専門業者へ委託し、枯れてしまったものは伐採しており、農村部の道路にはみ出した樹木は、維持管理の中で剪定している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>御影でひどい臭いがする。牛ではなく豚。</li> <li>市街地はしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御影地区における豚の臭いに関する苦情は届いていない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪の開始時間が遅すぎる。9時や10時で会社に行くのに間に合わない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪作業は基準により行っているが、降雪の状況によっては作業開始時間を変更するなど、臨機応変に効果の高い除雪作業を行うよう執行側へ伝える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り、電柱の周り等は機械が入らないのでそのまま。業者は請け負っており、きれいにやるのが当たり前ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線によって草刈りを行っているが、機械車両で草刈りをする場合、基本的に電柱周りは刈っていない。</li> </ul>

町政に対するもの②（厚生文教常任委員会で調査、検討）


質疑、意見提言等	調査、検討結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年は高齢者の運転免許証自主返納がテーマだった。議会として環境整備を検討するような話だったが、その結果を聞きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者運転免許証自主返納者への支援として、タクシー乗車券の発行、コミュニティバスの無料乗車（2年）の取り組みが行われており、議会としても今後の取り組みを見守っていききたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみのペットボトル、洗わない人もいる。あれは業者がやり直している。</li> <li>見ているが、いい加減にやっているだけだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般家庭から排出されるペットボトルの資源ごみは、中身に汚れがあるものは収集しておらず、収集してから委託業者が洗浄することは考えられない。</li> </ul>

昨年の意見・提言等で執行側へ対応を求めた項目の検証結果


平成29年意見・提言等	平成29年調査、検討結果	平成30年検証結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローンについて提案したが、現状は。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローンは平成29年度に防災備品として購入予定であるが、貸し出しの要望もあるため、使用方法を定めて運用するよう執行側へ伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローン貸出要綱を平成30年7月に作成している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練を行うべきで、自衛隊をより有効に活用すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練は非常に重要なことで、今後の必要性を執行側へ伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関や町民も参加しての清水町総合防災訓練が9月23日に開催される。（開催済）</li> </ul>

貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。

議会に対するもの②（議会運営委員会で調査、検討）

質疑、意見提言等	調査、検討結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民との接点を問題視する意見もあり、議会の質のあり方、議論を分かりやすいように進めることを住民は期待している。</li> <li>議会（議員）と住民の接点について、より距離を縮めていくような工夫、努力が必要かと思う。議員力アップにつながることであり、議場での住民に分かりやすい理論構成に満ちた質問により、自然に住民は引きつけられていき、議会に関心を示していくことにもなる。長い道だが、その辺を期待している。住民全ての理解を得ることは困難だが、議会活性化特別委員会の活動を評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民との接点は議会報告会と町民との意見交換会などに取り組んでおり、更に広報広聴活動の充実に向けて新たに広報広聴常任委員会を設置している。</li> <li>議員力については、研修受講の継続等により町民の期待に応えていきたい。</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>年金の話もあるが、意見書を提出したと聞いているので、全体的に説明できるように対応してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員のなり手不足の一方策として、全国町村議会議長会からの要請に基づき、平成29年3月に「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」を国へ提出している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>意見・提言の聴取とあったが、発言した人への反論的な答弁もあったと思うので残念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会内での調査・検討結果の説明を行ったが、今後は注意して進めていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>来年は飲み物を出してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>執行側の懇談会でも飲み物の提供は行っておらず、期待に応えられない。</li> </ul>

会場で回答済みとした項目

質疑、意見提言等	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>議長会の十勝標準の金額はいくらなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十勝町村議会議長会で報酬議論の材料になるように十勝標準の数字を示した。活動を調べて月額を試算している。（議員は222,000円）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬は仕事に対する対価とのことで、今まで3回下げた理由を聞きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年頃から清水町の行財政改革が始まり、職員の給与削減、使用料の負担増と並行して、議会も定数を13名に減らし報酬も下げている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>定数は現在13名だが、活動のボリュームとして足りないのか多いのか、議員の感覚を聞かせてほしい。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>議長を除いた12名で2常任委員会を構成している。委員会は6名で委員長のほか5名で議論となるが、委員長のほか4名だと意見が分かれた時に難しい要素があり、これ以上減らせない。</li> <li>13名が理想的。11名・9名・7名になると議会活動が行えなく、なおさら議員のなり手がなくなる。</li> <li>今の13名がちょうどいい。人口からみても妥当。</li> <li>財政難の中で議員定数を減らそうとなった。その時に委員会活動が重要となり、委員会を6人にすると採決する時に奇数で、町の規模からも13人で議会活動は可能となった。</li> <li>議員になる前に18名の議員数を9名・11名にどの請願を出し、最終的に13名になった。議員になって活動すると奥深いものがあり、町民との対話が大切で、減らせばいいというものではない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民との接点を考えると、政務活動費を研究する必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬を上げて政務活動費もというのは、「町議会はよくやっている、活動している」という時期ならいいが、今はその時期ではないとの結論になった。</li> </ul>

## 議会のうごき

8月

- 17日  
総務産業常任委員会
- 22日  
北海道町村議会広報研修会（札幌市）
- 23日  
十勝町村議会議長研修会（大樹町）
- 28日  
議会運営委員会  
議会活性化特別委員会

9月

- 3日  
総務産業常任委員会（合同作況調査）
- 4・18日  
議会運営委員会
- 5・21日  
広報広聴常任委員会
- 11・18・21・25・28日  
第6回町議会定例会
- 11日  
総務産業常任委員会  
厚生文教常任委員会
- 21日  
全員協議会

10月

- 18日  
足寄町議会 視察来町
- 
- 本町の議会活性化の取り組みについて調査されました。
- 22日  
広報広聴常任委員会
  - 23日  
議会活性化特別委員会

11月

- 5日  
議会活性化特別委員会
- 6日  
第7回町議会臨時会  
広報広聴常任委員会  
十勝町村議会議員研修会（芽室町）
- 9日  
厚生文教常任委員会
- 15日  
総務産業常任委員会

## 議会を傍聴しませんか

12月の議会定例会は12月11日に開会を予定しています。  
議員の活動や町政の方針などをぜひご覧ください。

**開会**  
**12月11日**  
**(火曜日)**

## 臨時議会 DIGEST ダイジェスト

第7回臨時会 【会期：11月6日】

一般会計補正予算、工事請負契約など、6件を可決

平成30年度 補正予算

一般会計  
(8回目の補正)

6,366万円増 総額100億2,034万円

一般会計の主な補正(歳出)

- ◇福祉灯油等助成費 1,133万円の増額
- ◇環境保全型農業直接支援対策事業交付金 40万円の増額
- ◇産地パワーアップ事業補助金 5,190万円の増額

工事請負契約の締結 ※契約金額が5千万円を超える場合、議会の議決が必要。

- 【工事名】平成28年度排水路災害復旧工事その11（中央2）
- 【契約金額】変更前41,364,000円 → 変更後50,112,000円
- 【契約の相手方】御影建設工業株式会社

工事請負契約の締結の議決事項の変更

- 【工事名】平成28年度排水路災害復旧工事その2（南清水2）  
【契約金額】変更前131,112,000円 → 変更後151,357,680円
- 【工事名】平成30年度排水路災害復旧工事その8（鉄南2）  
【契約金額】変更前52,812,000円 → 変更後56,656,800円
- 【工事名】平成30年度排水路災害復旧工事その13（中野1）  
【契約金額】変更前62,532,000円 → 変更後90,752,400円
- 【工事名】平成30年度排水路災害復旧工事その23（平和）  
【契約金額】変更前76,226,400円 → 変更後78,699,600円

## 議会 TOPICS トピックス

### 十勝町村議会議員研修会

11月6日(火)に芽室町中央公民館で十勝町村議会議員研修会が開かれ、議員が出席しました。

研修では、北海道庁総合政策部市町村課長の羽田翔さんを講師に迎え、「今後の行財政運営の課題」と題した講演が行われました。



## 編集後記

今年も議会報告会と町民との意見交換会を清水地区と御影地区の2会場で開催し、多くの町民の皆さまにお集まりいただき、貴重なご意見をいただきました。寄せられたご意見・ご要望等は所管の委員会に振り分けて検討し、町政に関するものについては町に申し入れをしました。

年明けの1月に改選期を迎えるため、12月の定例会は現議員にとって任期最後の定例会となります。開会日が近くなりましたら新聞チラシ等でお知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。

広報広聴常任委員会委員 佐藤 幸一

清水町議会ホームページ <http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/gikai>  
清水町議会 e-mail [gikai@town.shimizu.hokkaido.jp](mailto:gikai@town.shimizu.hokkaido.jp)

★議会中継は清水町議会のホームページからご覧になることができます。